

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年2月6日

事業所名 しあわせ駅 山内

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			2階のスペースを有効活用できるように職員間でレイアウトなど協議しており、今年度までには使用できるように努めます。
	2	職員の配置数は適切である	8	1		配置基準は満たしている。だが、職員間での児童の特性や課題など支援に対する共通理解のすり合わせが必要。職員会議などで情報共有などを図っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	4	全体をバリアフリー化はしておらず、「段差のある社会への適応」として意識化の言葉かけを実施している。	構造化されていると認識はしている。必要性に生じれば、バリアフリー化も検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	1	清潔かつ安心安全に過ごせる空間づくりに励んでいる。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	5		長期のPDCAサイクルの実施はできておらず、長期目標を施設で設定しより業務改善が行なえるようにしていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2		保護者さんからのご意見を積極的に取り入れ、職員間で協議し業務の改善に努めていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3	毎年ホームページで公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9		未実施の為、今後導入を検討中。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		本社にて定期的に研修を行っている。また、市町村からの研修案内を活用し、興味がある職員や必要性のある職員から率先して研修を受講していただいております。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		対象児にあった計画を作成できている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	4	統一した書類を使用している。	共有できていない職員がいる為、職員会議等で共有していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1	職員会議で内容検討し、担当の者が纏めて支援計画書を作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		・全職員で計画書の内容を確認しながら支援することができる。また、個別支援記録の記載に確認しながら記録も出ている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		職員会議にて担当者を振り分けて、その中でどのような活動にしていくかを検討し実行に移すことが出来ている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		広く外部の方(他事業所)との交流会により活動内容を参考にしたり意見交換を図っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9		個別:レッスン、ミッションを設定。 集団:全体で活動や未就学児のみだけで集団活動と分け、プログラムを作成したものを組み入れている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		朝礼や活動前に支援内容や支援の意図などを論理的に組み立て、職員間で確認を図っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		帰りの送迎後や翌朝の朝礼でフィードバックをし、職員間で共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		記録後に職員間で共有し振り返り、追記などを行いながら検証している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		保護者さんの新たな困り感などを相談員さんと会議を持ち、職員間で子どもの様子や進捗などを鑑みて支援の必要性を再検討を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		最もふさわしい者が参画することができた。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		特に連携してはいないが、個人的に個別に適宜に必要な情報を収集し、情報を共有している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	8		現在該当者なし。 必要に応じて、対応していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	8		現在該当者なし。 必要に応じて、対応していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		担当者会議にて、関係機関同士の支援計画を共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			今後、必要になってくるので保護者さんと連絡をとりながら、関係機関と相互理解を図っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	他事業所との連携などをし、情報共有やお互いに助言、勉強会等をしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	5	児童館などで触れ合いはある。	現在、特に連携している園等はないが、今後必要に応じて交流の検討を行う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	5		今後参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		活動中の様子をLINEで共有。送迎時には、申し送りを行っている。また、モニタリングでの課題などを共有し共通理解を図っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	5		現在、保護者さん対象のペアレント・トレーニングは当事業所では実施していない。 今後は、月に2回のヨガ教室やお茶会を行っていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に説明を行い、説明の中で分からなかった点に関してはLINEや電話などで改めて説明をさせていただいている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	2	保護者さんへ内容の説明を行い、同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		申し送りや電話等で保護者さんの話を聞き、必要な、支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9			現在は、年に1回保護者交流会を行っている。私用などで参加できていない保護者さんもいる為、今後は保護者交流会の頻度を高め保護者さん同士の連携を促していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		お便りやLINEにて細かく発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		個人情報扱うのみだけロッカーの鍵を開け、流出しないように細心の注意を払っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		十分に配慮することができた。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	5		現在、地域住民を招待するプログラムは未実施な為、今後実施方向で検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1	回覧板として、職員間で共有し分からない箇所に関してはその都度本社に確認し、周知を行っている。	防犯や感染などは十分に説明が出来ていないので、保護者さんが安心できるよう説明を行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1	年2回以上は避難訓練を実施。実施後は、フィードバックをし実際に発生した際に対応できるように行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	1	契約時に保護者さんに確認し、アセスメントシートに記入をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		医師からではなく、保護者の指示のもと対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハット事例集も含め報告書をファイル化している。	職員の入れ変わりもあったので、再度事例検討を行っていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	職員会議にて研修を行う事ができた。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	1		該当する児童なし。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。